(様式３) 目的設定表(令和03 **年度)　予算区分：**通常　　**要求区分：**令和 3年度 6月補正予算　　**確定日（**令和03 **年** 07 **月** 02 **日)**

事業ｺｰﾄﾞ	04060311		**政策コード**	04	**政 策 名**	秋田の魅力が際立つ 人・もの交流拡大戦略			
事 業 名	地域公共交通活性化チャレンジ事業		**施策コード**	06	**施 策 名**	交流の持続的拡大を支える交通ネットワークの構築			
			指標コード	03	**施策目標(指標)名**	技術革新等を見据え地域の実情に応じた多様な地域公共交通の確保			
部 局 名	観光文化スポー	**課 室 名**	交通政策課	**班名**	地域交通班	**(tel)** 1283	**担当課長名**	小松勝統	**担当者名** 吉尾千秋

評　価　対　象　事　業　（　計　画　）　の　内　容　　**事業年度**　令和03**年度**　～　令和05**年度**

1．事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか)

本県の地域公共交通のネットワークの維持及び充実を図るため、地域の創意工夫によるＩＣＴの活用や関係団体等と連携した利便性向上、利用促進等に向けたモデル的・先進的な取組を推進する必要がある。

2．住民ニーズの状況

①ニーズを把握した対象

■ 受益者　■ 一般県民　**(時期：** R02 **年** 06 **月)**

②ニーズの把握の方法

□ アンケート調査 ■ 各種委員会及び審議会 □ ヒアリング □インターネット

□ その他の手法　**(具体的に　　)**

③ニーズの具体的内容

秋田県生活交通対策地域協議会や各市町村の公共交通会議において、地域公共交通に対する利用者の意見等を聴取している。

◎把握してない場合の理由及び今後の方針

①理由	
②今後の方針	

3．事業目的（どういう状態にしたいのか）

地域の創意工夫によるＩＣＴの活用や関係団体等と連携した利便性向上、利用促進等のモデル的・先進的な取組を支援することにより、地域公共交通の利用拡大や収支の改善等に繋げ、ネットワークを維持・拡充する。

(重点施策推進方針との関係)　● 重点事業として要望　○ その他事業として要望

4．目的達成のための方法

①事業の実施主体	市町村、交通事業者、教育研究機関等
②事業の対象者･団体	一般県民及び地域公共交通の利用者

③達成のための手段

交通事業者や市町村等が連携して取り組む、ＩＣＴの活用や関係団体等と連携した利便性向上、利用促進などに向けたモデル的、先進的な事業について経費の一部を補助する。

④比較した代替手段及び選択した手段の有効性

県では生活の足である地域公共交通を維持確保するため、交通事業者や市町村に運行費補助などを行っている。しかし、今後はこれに加え、地域の創意工夫によるＩＣＴの活用や関係団体等と連携した利便性向上、利用促進等のモデル的・先進的な取組をを県が支援することがネットワークの維持・拡充を図る上で有効である。

5．事業の全体計画及び財源　　**単位(千円)**

順位	事 業 内 訳	左　の　説　明	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	全体(最終)計画
01	地域公共交通活性化チャレンジ事業	交通事業者や市町村等が連携して取り組む、ＩＣＴ技術の活用や関係団体等と連携した利便性向上、利用促進などに向けたモデル的、先進的な事業について経費を補助する。	3,349	3,349	3,349	0	0	0	10,047

財源内訳	左　の　説　明	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	全体(最終)計画
		3,349	3,349	3,349	0	0	0	10,047
国庫補助金		0	0	0	0	0	0	0
県債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		3,349	3,349	3,349	0	0	0	10,047

６．事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果	交通事業者や市町村等によるＩＣＴの活用などに向けたモデル的、先進的な取組が増え、県内に広がることにより地域公共交通が活性化し、ネットワークが維持・拡充される。

指標Ⅰ

指標名	地域公共交通活性化チャレンジ事業への応募件数	指標の種類
指標式	地域公共交通活性化チャレンジ事業への応募件数	○成果指標 ●業績指標

①年度別の目標値（見込まれる成果による指標）

指　標	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	最終年度
目標a		0	2	4	6	0	0	
実績b	0	0						
東　北	0	0						
全　国	0	0						

②データ等の出典

地域公共交通活性化チャレンジ事業審査会資料

③把握する時期　○ 当該年度中　月　● 翌年度 04月　○ 翌々年度　月

指標Ⅱ

指標名		指標の種類
指標式		○成果指標 ○業績指標

①年度別の目標値（見込まれる成果による指標）

指　標	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	最終年度
目標a		0	0	0	0	0	0	
実績b	0	0						
東　北	0	0						
全　国	0	0						

②データ等の出典

③把握する時期　○ 当該年度中　月　○ 翌年度　月　○翌々年度　月

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することが出来ない理由

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性

「地域公共交通の維持・確保」は住民生活や地域社会の維持に不可欠である。

住民ニーズに照らした事業の必要性

将来に渡って地域公共交通を維持・確保していくためには、これまでの「欠損の下支えと代替交通の確保」を基本とする考え方に加え、地域が一体となった創意工夫によって新たな需要を開拓する必要がある。

事業の県関与の必要性

□ 法令・条例上の義務　□ 内部管理事務　■ 県でなければ実施できないもの

□ 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

交通事業者や市町村にＩＣＴの活用や関係団体と連携した利便性向上、利用促進等に取り組むよう働きかけ、その結果を全県に展開し「地域公共交通の維持・確保」に繋げるため、県の関与が必要である。

政策評価委員会意見	重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
	○重点事業　○その他